

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン 平成29年度総会議事録

1. 日 時 : 2017年3月25日(土) 18:00~18:45

2. 場 所 : 岐阜県中津川市茄子川1683-797
東美濃ふれあいセンター 歌舞伎ホール 1階 楽屋

3. 出席者

総社員数 40名

(1) 本人出席者 22名(うち理事6名、監事1名含む)

高橋友一、今井俊二、平光宗基、中島晃芳、島谷太、野村泰朗(理事6名)、
蟬正敏(監事1名)
水野勝教、富永一利、長田尚徳、間野寛美、青木亮一、黒木啓之、玉水亘、
野々宮英二、藤井晴基、山野真一、樋川直人、新田真司、井関暁洋、寺田稔、
川上誠

(2) 委任状提出者 15名(うち理事2名、監事1名)

松原仁、北原達正(理事2名)、金田忠裕(監事1名)
高橋忠、水川信之、山田吉孝、栗田稔、瀬谷知之、橋本好幸、池田有佳里、
上吉原一弘、湯浅ゆかり、設楽信二、吉田賢、後藤修平

(3) 欠席者 3名

4. 議事

1. H28年度事業報告(案)、収支決算報告(案)
2. H29年度予算(案)、事業計画(案)
3. 役員改選、2017-2018理事体制
4. 議事録署名人の選任
5. その他

5. 配布資料

- 資料1. H28年度事業報告書(案)、収支決算報告(案)
資料2. H29年度予算(案)
資料3. 役員名簿(案)、2017RCJJ理事担当(案)

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋友一理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) H28年度事業報告(案)、収支決算報告(案)について

①高橋理事より、資料1に基づきH28年度事業報告について報告がなされ、承認された。引き続き、島谷理事より収支決算報告がなされ、承認された。

②蟬監事より、H28年度事業報告書および収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) H28年度予算(案)、事業計画(案)について

①島谷理事より、資料2に基づきH29年度収支予算について説明がなされ、承認された。

②富永氏より、30年度以降にJSTの支援金が再開されるのか。また今後主な収入源は会費とジャパンオープン参加料になるのかと質問があった。高橋理事より、JST支援は1期5ヵ年計画のため、

今後5年は支援がないこと、また収入源としてスポンサーの獲得が重要な課題となる旨、説明がなされた。

③玉水氏より、今年度のブロック支援費は実施されるのかとの質問があり、高橋代表理事より今年度はないとの、報告がなされた。

(4) 役員改選、2017-2018理事体制について

①高橋理事より、資料3に基づきすべての理事は本定時総会の終結時をもって任期満了であることから、6名の理事（高橋友一氏、今井俊二氏、島谷太氏、中島晃芳氏、野村泰朗氏、松原仁氏）の重任、および新任理事として水野勝教氏が提案され、その可否を議場に諮ったところ満場一致をもって承認された。被選任者は席上その就任を承諾した。

尚、理事北原達正氏、平光宗基氏、丹羽尚子氏は、今期をもって退任となる旨、報告がなされた。

②高橋理事より、資料3に基づき2017-2018理事体制について報告がなされ、以下の通りで提案がなされ、承認された。

競技：中島理事、野村理事、山下氏

国際：野村理事 (Reginal Representative)、水野理事 (国内補佐：中島理事)

運営：ブロック・ノード担当 中島理事、今井理事、後藤氏

広報担当 今井理事、水野理事

渉外担当 代表理事、松原理事

会員サービス 今井理事、島谷理事、小山氏

経理：島谷理事、野村理事

企画：代表理事、全員

日本委員会担当理事として水野理事を推薦することとした。

③井関氏より、予算案で収入減との説明があったが、新たな財源確保の役割を担う理事はどなたになるのか質問がなされた。高橋理事より、新たなスポンサー獲得に向けた活動は、企画及び渉外担当理事が行う旨、説明がなされた。これに対し、より安定した財源となり得る会員数増加に向け動く方が確実ではないかとの意見があった。今後会員サービス内容の充実等を検討し、5月のブロック長意見交換会で方向性を示す旨、高橋理事より報告がなされた。

(5) その他

①富永氏より、昨年のブロック長意見交換会を受け、NIPPON Leagueが新設されたことは良いが、このリーグはジャパンオープン未経験者を対象としているにも関わらず、出場経験者がエントリーするケースが見受けられるため、防止策を検討してもらいたいとの意見があった。これに対し水野理事・中島理事より、現行RCJJは過去大会情報を保持しないが、今後数年でデータベースの管理や会員の在り方、エントリーシステムの見直しについても、引き続き検討する旨説明がなされた。

②山野氏より、ノード、ブロック大会への参加について、不透明なエントリーを避けるため、居住地域および活動地域いずれの大会に出場するのか質問があり、野村理事より引越しなどでチームメンバーが別々になった場合などは、チームメンバーのどちらかが居住もしくは活動しているブロックから参加できるが、2つのノード大会を二重エントリーすることは認めない旨、説明がなされた。また高橋理事からこの件について、今後運営規程に明文化する旨、報告がなされた。

③黒木氏より、ジャパンオープンが肥大化しており、各ブロック・各カテゴリで1チームしか選拔されないが、ブロックの規模により不公平が発生していることなどを踏まえ、今後ノードブロックの在り方を検討してもらいたいとの意見があった。

(6) 議事録署名人について

①閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、玉水亘氏、及び井関暁洋氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成29年3月25日

議長 高橋 友一

議事録署名人 玉水 亘

同 井関 暁洋

